



教育目標
 明るく思いやりのある子(きよく)
 進んで学ぶ子(かしこく)
 健康でねばり強い子(たくましく)

5年生「高校生とのミシン体験」で宜野座高校へ

1月10日(木)の5・6校時に5年生は、家庭科「ミシンの直線縫い」の学習で、宜野座高等学校を訪ね、選択科目「子どもの発達と保育」の授業を受講している高校生をリトルティチャートして、ティッシュカバーづくりを行いました。この体験活動は①高校生がリトルティチャートとして、ミシンの使い方を学習する小学生に対して安全なミシンの使い方を教える。②高校生は普段の授業では得られない児童とのふれあいを学ぶ。③小学生は、高校生とのふれあいを通して、高校とはどんな所かを学ぶ。という3つの目的があります。

15名の高校生がリトルティチャートして、5年生に丁寧にミシンの使い方を教えてくれました。具体的に優しく教えてくれるお兄ちゃんやお姉ちゃんに5年生は大感激の様子でした。ミシンで直線縫いを練習した後、正方形の2枚の布を使って、ティッシュペーパー入れを作成していきました。自分で選んだ布で作品が出来上がっていく様子に笑顔が広がっていく5年生でした。時間が足りず、最後まで仕上げる事ができなかった子もいますが、あと少しなので、学校で仕上げをして、家庭に持ち帰りました。ぜひ、子ども達の作品をご覧ください。

こんなステキな機会を作って下さった、宜野座高校の景光正明先生と15名の高校生に感謝の気持ちでいっぱいです。



写真1・2 ミシンの使い方を教えてもらう5年生

写真3 体験活動の様子

活動を終えての感想

- ティッシュペーパー入れ作りを教えてください、ありがとうございました。この活動を通して学んだ事をこれからのいろいろなチャレンジに生かしていきたいです。(5年 當眞新菜)
- ミシンを使っのティッシュペーパー入れ作りをお兄さんやお姉さんに教えてもらって、うれしかったです。作品を仕上げる事ができなかったのが最後の仕上げをこれからしたいです。(5年 加藤稜雪)
- これまで小学生に何かを教える経験はなかったけれど、このことは、これから社会に出て行くぼく達にとっては、とてもいい経験になったと思います。小学生の皆さんもいつか教える立場になると思うので、今日のこの体験で学んだ事を大切にしたいと思います。(宜野座高校生 男子)

